

AE 剤

ヤマソー AE 456

ヤマソーAE456は、生コンクリートの製造・出荷時から現場到着までの間に、コンクリートの空気量が低下する場合や吸着の大きいフライアッシュ等を使用したコンクリートに適したAE剤です。

適切な使用量を選定することにより所要の空気量を確保することができます。

なお、ヤマソーAE456はJIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」のAE剤（I種）に適合します。

主成分、物性および使用方法

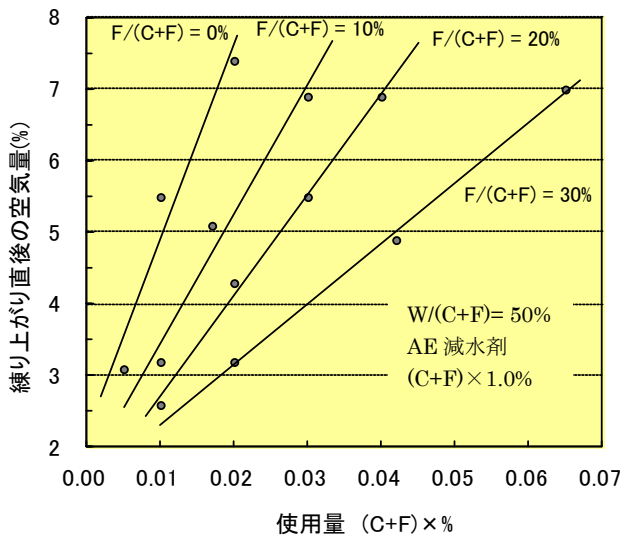
主成分	外観	密度 g/cm ³ ,20°C	塩化物イオン量*	全アルカリ量*
アニオン及びノニオン系 特殊界面活性剤	淡黄色液体	1.01~1.04	0.00 % 【0.00 kg/m ³ 】	1.1 % 【0.00 kg/m ³ 】

*塩化物イオン量と全アルカリ量は分析値例であり、【 】内はヤマソーAE456を3A(15ml/C=100kg)使用した場合、C=300kg/m³のコンクリート1m³当りに導入される量です。

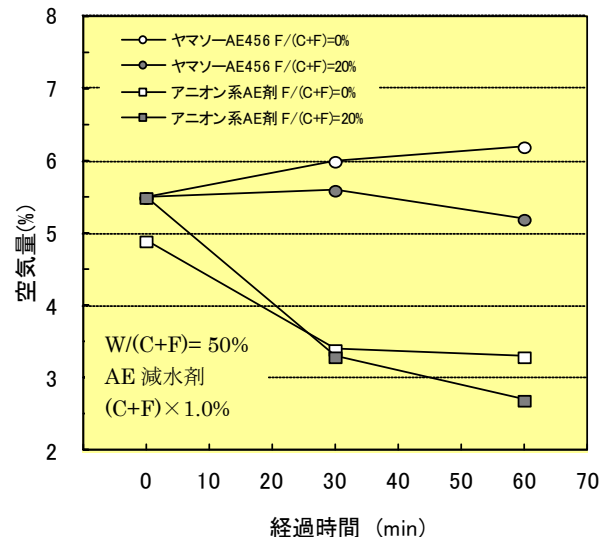
- 試験練りで使用される場合は、あらかじめ50~100倍程度に希釈して使用して下さい。
- 空気連行性はフライアッシュの種類や混入割合及び配(調)合によって変化しますが、便宜的に空気量を1%増加させるために必要な量(1A)を「ヤマソーAE456」原液で5ml/C=100kgとします。
- 他の混和剤との混合は、あらかじめ相溶性をお確かめ下さい。

空気連行性と経時変化試験例

【使用量と空気連行性】



【空気量の経時変化】



JIS A 6204 形式評価試験結果例

項目		AE 剤 規定値	ヤマソーAE456 試験値
減水率 (%)		6 以上	9
凝結時間の差 (min)	始発	-60 ~ + 60	+ 5
	終結	-60 ~ + 60	+ 5
圧縮強度比 (%)	7 日	95 以上	105
	28 日	90 以上	99
長さ変化比 (%)		120 以下	96
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	90

注) 一般財団法人 建材試験センターによる形式評価試験結果 (ヤマソーAE456 の使用量 14.5 ml/C=100kg)

使用上および取り扱い上の注意

1. コンクリートの性状は、使用材料、配(調)合、温度などの条件により変わる場合がありますので、あらかじめ試し練りによって性状を確認して下さい。
2. 異物や雨水、他の混和剤などが混入しないように、保管・使用して下さい。
3. 凍結した場合(凍結温度-2℃)には、ゆっくりと暖めながら静かにかくはんし、融解して下さい。
4. 皮膚についた場合は、水と石鹸でよく洗い落として下さい。
5. 眼に入った場合は直ちに清浄な水で15分以上洗浄した後、眼科医の手当てを受けて下さい。
6. 万一誤飲した場合には、胃の内容物を吐かせ、口腔内を洗い、速やかに医師の診断を受けて下さい。
詳細は、安全データシート(SDS)の内容を参照して下さい。

荷姿

18 ℓ 缶

- ここに記載された事項は、細心の注意を払って行なった弊社の実験データに基づくものですが、実際の現場における結果をすべて確実に保証するものではありません。従って、需要家各位にて十分ご検討のうえ、ご使用下さいますようお願い致します。



本 社	〒104-0032	東京都中央区八丁堀2丁目25番5号	☎03(3552)1341
東 京 営 業 部	〒104-0032	東京都中央区八丁堀2丁目25番5号	☎03(3552)1261
大 阪 支 店	〒530-0041	大阪市北区天神橋3丁目3番3号	☎06(6353)6051
福 岡 支 店	〒812-0008	福岡市博多区東光2丁目6番6号	☎092(483)8567
札 幌 支 店	〒006-0001	札幌市手稲区西宮の沢1条2丁目3番45号	☎011(662)5552
広 島 営 業 所	〒733-0005	広島市西区三滝町14番4号	☎082(237)3083
仙 台 営 業 所	〒980-0004	仙台市青葉区宮町3丁目9番27号	☎022(224)0321
北 陸 営 業 所	〒910-0001	福井市大願寺2丁目9番1号 福井開発ビル403	☎0776(28)2566
平 塚 事 務 所	〒254-0016	平塚市東八幡3丁目6番22号	☎0463(23)5536
静 岡 出 張 所	〒422-8032	静岡市駿河区有東2丁目5番21号 テアビア静岡101	☎054(202)5111
高 松 出 張 所	〒760-0075	高松市楠上町1丁目5番15号 リビエール楠上103	☎087(863)7565